

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



牛の異常産とワクチンによる予防について

流産、早産、死産、体形異常などの「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、蚊やヌカカが媒介するアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きい疾病です。これらの疾病は、全国で散発しており、平成25年には、熊本県でもアカバネ病が発生しました。これら3つの疾病は、ワクチンにより予防できますので、毎年接種を行うことが重要です。

疾病別の主な症状とワクチンによる予防

疾病名	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス感染症
発生時期	夏～翌年春	秋～翌年春	夏～翌年春
臨床症状			
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 ※ピートンウイルス感染症も同様の症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状 	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状
ワクチン	牛異常産3種※又は4種混合不活化ワクチン (※アカバネ病、※チュウザン病、※アイノウイルス感染症、ピートンウイルス感染症)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 		



吸血昆虫は初夏から秋にかけて増加し、吸血活動を盛んに行うため、この時期にかけてウイルスも次々に広がっていきます。

吸血昆虫が媒介するウイルスが原因の異常産では、ウイルス感染が起こる7月から11月頃にかけて流産や死産が、それにやや遅れて12月から翌年4月頃にかけて先天異常子の出産が見られるという特徴があります。

<お問い合わせ先>

阿蘇家畜保健衛生所 TEL: 0967-22-0041

抗菌剤の慎重使用について

動物用抗菌剤は、家畜の健康を守り、安全な食品の安定した生産を確保する上で重要な資材です。しかし、動物用抗菌剤を使用することによって、細菌が薬剤耐性を獲得し、その効果が減弱することがあります。さらに、家畜の薬剤耐性菌が食品を介して人に伝播し、人の治療に悪影響を及ぼすことが懸念されています。このような背景から、抗菌剤の慎重使用が国際的に推奨されています。

抗菌剤の慎重使用とは

抗菌剤を使用すべきかどうかを十分検討した上で、抗菌剤の「適正使用」により最大限の効果を上げ、薬剤耐性菌の選択を最小限に抑えるように使用することです。

適正使用



農林水産省HPより

こうした中、農林水産省のウェブサイト*では薬剤耐性対策普及啓発のために抗菌剤治療ガイドブック、動画及びリーフレットが作成・公表されています。ガイドブックでは、慎重使用を考慮した抗菌剤の選択の際に参考となる情報について、図や写真を用いながら紹介されていますので積極的に御活用ください。

* <http://www.maff.go.jp/j/syoutan/tikusui/yakuzi/koukinzai.html>

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地 (国)	畜種	発生年月日
口蹄疫	○型 ※3例目はウイルスの種類を検査中	韓国 (3件)	牛	平成31年1月28日 ～1月31日
	O型	ロシア (4件)	牛、豚	平成31年1月24日 ～1月27日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾 (6件)	七面鳥、地鶏、肉用アヒル	平成30年12月6日 ～平成31年1月23日
	H5亜型	ロシア (2件)	家きん、七面鳥	平成31年1月4日 ～1月21日
アフリカ豚コレラ		中国 (8件)	豚	平成30年12月30日 ～平成31年1月19日
		モンゴル (9件)	豚	平成31年1月9日 ～1月24日

平成31年2月1日時点



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

